

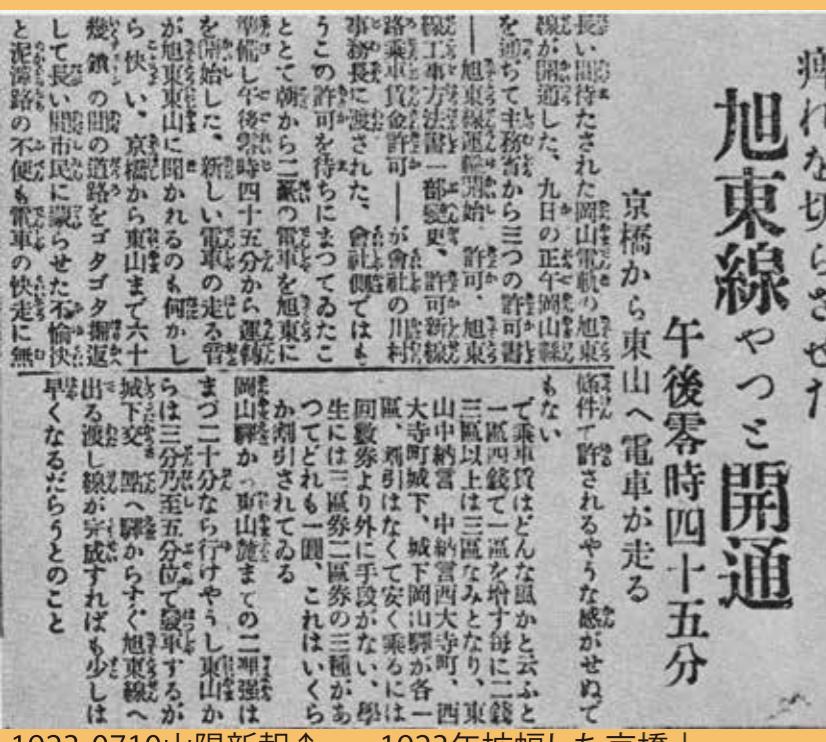
# 岡山電気軌道関連ミニ歴史

明治 45 年 5 月 5 日	岡山駅一城下後楽園前開業
大正 6 年	京橋掛け替え完成
大正 10 年 7 月 26 日	番町線開業
大正 12 年 2 月 5 日	(三蟠軽便鉄道開業)
<b>大正 12 年 7 月 9 日</b>	<b>旭東線（東山線）開業</b>
大正 14 年 7 月 4 日	岡山市へ路線譲渡契約、実現せず
昭和 3 年 3 月 18 日	清輝橋線開業
昭和 9 年 9 月 21 日	室戸台風洪水で灌水、数日後復旧
昭和 20 年 6 月 29 日	岡山空襲
昭和 26 年 11 月	石津式パンタグラフ
昭和 37 年	番町線万町延伸を市議会否決
昭和 37 年 10 月	岡山国体に合わせ駅前通り拡幅
昭和 41 年 11 月 28 日	ボギー車 1001 形運行開始
昭和 43 年 5 月 31 日	番町線廃止
昭和 44 年	日光 3000 形導入開始、10両
平成元年	岡山商工会議所環状化検討開始
平成 7 年 10 月 1 日	RACDA 創立記念電車運行
平成 9 年 5 月 28 日	路面電車サミットで駅前乗入表明
平成 13 年 2 月 14 日	市役所延伸交通実験
平成 14 年 7 月 5 日	MOMO 営業運転開始
平成 23 年 10 月 15 日	MOMO2 運行開始
令和元年 3 月 16 日	チャギントン電車運行開始
令和 5 年 1 月 10 日	駅前乗入れ工事着工



東山線開通 7月9日  
1923~2023

1923年拡幅した京橋↑



1923-0710山陽新報↑ 1923年拡幅した京橋↓



1923-0701山陽新報、東山公園の納涼市の記事↓



1923年7月9日に京橋を拡幅して旭東線（東山線）が開業した。岡山城下町から京橋を通って山陽道が延びていたが、明治以後京橋に汽船が就航し、旭東地域の開発が進んだ。

1900年古京に第六高等学校が開校、また岡山師範学校や山陽女子学園もでき、1923年には三勲小学校も開校し、文教地区として発展した。

開業日には12:45に初電車が東山を出発、東山公園では50日間の納涼市が開催され、大盛況となった。路面電車が東山まで伸びた事で、岡山市街地は大きく拡大、終点の東山には偕楽園という健康ランドや東山公園の猿山など動物園もあった。玉井宮の秋祭りには川東の数十の壇尻が電車通りを埋め尽くした。



監修 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

岡山市北区丸之内 1-1-15

山陽新報記事・京橋写真等は「おかでん七十年のあゆみ」より転載

東山線沿線の思い出（三勲学区連合町内会長・成田昌士）  
京橋交番前に、京橋豆という七色の豆を売っていた。京橋は戦中に外灯が敵機の目標になると撤去された。門田屋敷には市場があって何でも揃った。セレモニーホールは岡電の資材置き場で、毎年春に木下サークル等が来た。東山コンビニは戦前は軟式庭球のなにくそ倶楽部があり、後に岡電のバッティングセンターになった。東山公園は、サクラの名所だった。東山の偕楽園は賑わい、入口に近くに、大きな熊がいた。門田文化町にも門田銀座があった。（談）

最初今の市民文化ホールに環翠尋常小学校が出来、内田百閒も通ったが、國富の操山小学校と合併して旭東小学校となり、さらに大正12年に三勲小学校が分かれた。なにくそ倶楽部は百閒のいとこの市議会議長もやった久保清三郎などが創設。最初は相生橋たもとの荒手に庭球場があったが、昭和6年の室戸台風で旭川が氾濫して、荒手そのものを昭和27年までに撤去した。この時相生橋が2桁分延長された。三勲小学校正門には、洪水の浸水線表示がいまも残る。